

令和 7 年度

「運営に関する計画」  
(中間評価)

大阪市立粉浜幼稚園

令和 7 年 1 2 月

## 大阪市立粉浜幼稚園 令和 7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

○本園は、昨年度、創立100周年を迎えることができた。1年を通して、創立100周年を祝う取組を様々に行い、子どもたち・保護者・教職員・地域の皆様とお祝いすることができた。今まで大切にはぐくまれてきた粉浜幼稚園の教育内容や魅力を大きく発信でき、住之江区の公立幼稚園として、今後も教育の要となるよう期待が高まっている。保護者の保育ニーズの変化など今般の状況から、園児数は少ないものの、粉浜幼稚園の良さを感じて選んで入園してくださり、現状を維持している。粉浜幼稚園の良さを生かした特色ある取組を通して、どのように教育内容を充実させていくか、また、園の魅力をどのように発信していくかを大きな課題と認識し、取組を積み重ねている。今年度も、教育内容や行事、地域との交流などについて、教職員全員で一つ一つ見直し、小規模園であることを良さに変え、様々な方と交流し、子どもたちの心が豊かに成長していくようにしたい。

また、令和6年度の園運営全体を通して、中期の目標の達成状況は、ほぼ目標通りに達成できたと言える。4年計画の4年目として、更に改善点を考え、取り組んでいく。

**【安全・安心な教育の推進】**

○安全指導において、子どもの実態に合わせ、機会を逃さず、危険な箇所や行動などを把握し、環境構成を見直し、全教職員で全園児を見守る体制づくりに力を入れてきた。また、災害時や緊急時に自分で自分の身が守れるような避難訓練の積み重ねや想定したことがない場面を様々に検討して訓練し、教職員自身の危機対応に対する意識を高めてきた。今年度も取組を継続し、『子どもたちが、生活の中で、安全に過ごそうとする気持ちが育つような保育内容や環境の工夫を行い、園での取組を保護者に伝わるような工夫を行っていききたい。

○挨拶は、人と人をつなげ、コミュニケーションをとるために重要である。取組の積み重ねにより、教師や友達に自分から挨拶する子どもや挨拶当番に意欲的に取り組む子どもが増えてきている。令和5年度、園の取組や園内で子どもたち一人一人が進んで挨拶をしようとする成長の姿が、保護者に伝わりにくい所もあったため、保護者と共に挨拶当番を行ったり、月末の保育室降園のときに、挨拶の取組目標を保護者にも伝えたりするなど、工夫してきた。それでも、幼稚園での子どもの育ちが実感しにくい現状もあった。今年度は、子どもたちが挨拶をする心地良さや大切さを感じ、進んで挨拶ができるように、さらに、年間計画を見直すとともに、園の取組や子どもが成長していく姿が保護者に伝わるように保育内容や情報発信の工夫を行い、保護者が子どもの育ちを実感できる工夫をしていきたい。教師や子ども、保護者が共に挨拶の気持ちよさを感じていけるように、取り組みたい。

○昨年度の取組で、子どもたちは、自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の思いに気付き受け止めて遊ぶようになってきている。今年度も、お互いの思いや違いを認め合い、育ち合うことができるように、話し合いの時間を大切に、指導内容の工夫を行いたい。教職員の園内委員会を充実させ、一人一人の子どもの実態や課題、支援の方向性を共通理解し一人一人を大切に教育を目指していきたい。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○令和5年度から、「遊びの中で、体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども」を育てるために、環境や保育内容、教師の教育的な働きかけを工夫してきた。体を動かして遊ぶ時間を十分にもち、教育内容を工夫して継続して取り組む中で、子どもたちは体を動かして遊ぶことが好きになり、遊びの中で、多様な動きが身に付き、挑戦する意欲も育まれた。3年目となる今年度も、その時期に応じた遊びの中で、より体を動かして遊ぶことが楽しめるような教師の働きかけや環境の工夫をし、子どもたちの育ちにつなげていきたい。また、日頃から大切にしている異年齢の交流内容を工夫し、お互いに影響し合い育ち合えるように、工夫していきたい。

○健やかな体の育成では、保護者と連携した取組の継続により朝食摂取、手洗い・うがいの習慣など家庭でも身に付いてきている。今年度も、健康な生活習慣が身に付くように更に子ども一人一人への指導を工夫すると共に、家庭でも継続して取り組めるように工夫していきたい。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○教育内容充実のためには、教職員が生き生きと働くことができるように、働き方改革推進プランに基づいて取組を進めることが重要である。しかし、今年度は、教員が一部事務分担をする内容が増えた。教職員全員で、声を掛け合い助け合って協力していく体制を工夫したい。また、教職員の研修を深め資質向上に努めるとともに、チームワークを大切に丸となって教育活動に力を注いでいきたい。

○家庭・地域等と連携・協働した教育の推進では、園の魅力を保護者だけでなく、地域の方や多くの方に発信できるよう、ホームページの更新回数を増やした。その結果、教育内容の理解が進んできている。未就園児園庭開放の実施や地域との交流も様々に行うことができた。更に、教育内容が充実するように、地域の教育力を活用し取組内容を工夫していく。

#### 中期目標

##### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、お子さんが生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。
- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、自分から挨拶をするようになった」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。
- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について、「そう思う」と答える保護者の割合を年度当初より向上させる。

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について、「そう思う」の割合を年度当初より向上させる。
- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、基本的生活習慣が身に付いてきていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。

##### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の職場内アンケートにおいて「仕事の効率化が進み、働き改革がなされていますか」「様々な研修を通して、自身の資質向上に努めることができましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は家庭・地域・他校種との連携を工夫している」の項目について、「そう思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 園の年度目標

- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、お子さんが生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。
- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、自分から挨拶をするようになった」の項目について、肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。
- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について、「そう思う」と答える保護者の割合を年度当初より向上させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 園の年度目標

- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う」の割合を年度当初より向上させる。
- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、基本的生活習慣が身に付いてきていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 園の年度目標

- 本年度末の職場内アンケートにおいて「仕事の効率化が進み、働き改革がなされていますか」「様々な研修を通して、自身の資質向上に努めることができましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- 本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は家庭・地域・他校種との連携を工夫している」の項目について、「そう思う」と答える保護者の割合を80%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立粉浜幼稚園 令和 7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>園の年度目標</b> ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、お子さんが生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫を行っていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。 ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、自分から挨拶をするようになった」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。 ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は、子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> 学校安全計画に基づき、安全指導を行う。 (安全教育の推進)	B
<b>指標</b> ・実態に応じて、安全に過ごそうとする気持ちが育つような保育内容、環境の工夫を月に1回行う。 ・園だよりやホームページ、掲示物等で、学期に1回以上、保護者啓発を行う。 ・関係諸機関と連携した安全指導を、年1回実施する。	
<b>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> 災害時や緊急時における約束を知り、自分で考えて避難できるような指導を行う。 (防災・減災教育の推進)	B
<b>指標</b> ・避難訓練年間計画を見直し、多様な想定での避難訓練を年10回以上実施する。 ・機会を捉えて年10回以上、保護者啓発を行う。	
<b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> 進んで挨拶をする子どもを育てる。 (道徳教育の推進)	B
<b>指標</b> ・挨拶に意識がもてるように、挨拶の取組について年間計画を見直し、挨拶運動を学期に1回行う。 ・月に1回以上、園だよりや降園時の連絡などを利用し、保護者啓発を行う。	
<b>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> 自分の気持ちや相手の気持ちに気付き、互いを認め合う子どもに育つような指導方法を工夫する。 (人権を尊重する教育の推進)	B
<b>指標</b> ・学期に1回園内委員会を行い、一人一人の子どもの実態把握や課題、支援の方向性	

などを共通理解する。 ・自分の思いを出したり、友達の思いを受け入れたりできるよう、クラスでの話し合いの時間を週2回以上もつ。 ・学期に1回以上、指導内容や子どもの姿を知らせ、保護者啓発を行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<b>年度目標</b> ○保護者アンケートにおいて肯定的な回答、「そう思う」の割合		
項目	5月	11月
① 「幼稚園は、お子さんが生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」	肯定的回答 <b>100%</b> (そう思う 77%)	肯定的回答 <b>100%</b> (そう思う 79%)
② 「幼稚園は、安全教育、防災教育に計画的に取り組んでいますか」	肯定的回答 <b>96%</b>	肯定的回答 <b>100%</b>
③ 「お子さんは、自分から挨拶するようになった」	肯定的回答 <b>91%</b> (そう思う 36%)	肯定的回答 <b>86%</b> (そう思う 62%)
「お子さんは、入園前から挨拶をしていた」	肯定的回答 <b>58%</b>	
④ 「幼稚園は、子ども一人一人を大切にしたい教育を心がけていますか」	肯定的回答 <b>96%</b>	肯定的回答 <b>100%</b>
<b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b> ○学校安全計画に基づき、保育内容や環境の工夫を行い、幼児が安全に過ごそうという気持ちをもてるよう取り組んでいる。 〈安全指導の内容〉		
4月	○園内の安全な生活の仕方 ・子どもがつくったポスターを貼ったり、繰り返し伝えたりするなどし、身に付くよう知らせた。 ○遊具・用具の安全な使い方 ・遊具やハサミなどの用具を使う際に、使い方や約束を話し合ったり、確認したりした。また、自分で取り出しやすいよう環境の工夫をした。	
5月～ 6月	○園外保育での安全行動 ・園内探検をし、安全な道の歩き方(右側通行、信号の渡り方、階段の昇り降り)を知らせた。 ○熱中症の予防 ・園庭での活動時間や内容の工夫、水分補給の徹底、ミストの活用を行った。	
6月～ 7月	○プールでの安全な遊び方 ・プール遊びの前には、必ず準備体操や水慣れを行ない、大切さを知らせた。 ・プールでの約束や遊具・用具の使い方について、人間劇で知らせる等、分かりやすいように伝えた。 ○交通安全 ・終業式で、安全な道の歩き方や信号の渡り方を保護者と共に考えた。	

8月～ 9月	<p>○遊具の安全な使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巧技台やトランポリンなどの遊具の安全な使い方を知らせ、ルールを守って遊べるようにした。</li> <li>・幼児が安全に、自ら考えて遊べる環境を工夫した。(幼児の動線や安全に配慮した遊具の配置、順番やスタートが分かるようにラインや足型などで可視化)</li> </ul>
10月	<p>○園外保育での安全行動(電車の乗り方、信号の渡り方など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の乗り方や道の歩き方(異年齢で歩く場合の歩き方)についてクラスで話し合い、安全に気を付けて行動できるようにした。</li> </ul> <p>○安全な遊び方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具(巧技台、竹馬、一輪車など)の使い方</li> <li>・鬼遊びなど集団遊びを通して、知らず知らずのうちに、人や物にぶつからないように避けるなど、身をかわしたり、安全に遊ぶ力を身に付けたりできるようにした。</li> </ul>
11月	<p>○用具の安全な遊び方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハサミなどの持ち方、使い方、片付け方などを再確認したり、タイミングを見逃さず、知らせたりして定着を図った。</li> </ul>

○毎月の園だよりで安全目標を知らせると共に、子どもたちに行なった安全指導を保護者へ周知と啓発をしている。

#### 取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】

○11月までに、計8回の避難訓練を実施した。

○避難訓練年間計画を見直し、教師が様々な非常時を想定して、具体的にどのように動くべきかを考えることで、参加する全員が意識をもって避難訓練をすることができた。また、実施後に教職員全員で反省会をし、振り返ることで新たな課題を見つけて共有し、より最善の方法で子どもたちを守れるように、課題解決に向けて話し合うことができた。5月の避難訓練では、大阪消防振興協会の方や消防署の方に来ていただき、指導を受けた。子どもたちは、教職員が消火訓練をする様子を見たり、消防車を見せてもらったりした。初期消火の訓練では、練習用の消火器を使って消火する様子を見ることで、消火器の役割を子どもたちは理解することができた。また、保護者参加の避難訓練や、引き渡し訓練では、幼稚園での避難訓練の様子を知ってもらうとともに、保護者の防災意識を高めるきっかけにもなった。

実施月	想定	実施内容
4月	火災 (各保育室で活動中、作業室から出火)	4歳児は、5歳児が避難する様子を見学。火災時は煙を吸わないようにハンカチで口や鼻を覆うこと、早歩きで避難することを確認した。
5月	火災 (各保育室で活動中、作業室から出火)	4歳児も参加し、鼻と口をハンカチで覆いながら園庭へ速やかに避難。消防振興協会の方から話を聞き、教職員の消火訓練と消防車を見学した。
6月	地震 (各保育室で活動中、地震発生)	緊急地震速報の放送を聞き、室内で身を守る体制をとった。揺れが収まった後に防災頭巾をかぶって速やかに正門前に避難。
7月	不審者対応 (各保育室で活動中、不審者が正門の外にいる)	不審者を確認し、教職員同士で情報を共有した後に1階廊下へ避難。園でPTA活動中の保護者も一緒に避難し、非常時の行動を確認。

8 月	地震 (始業式後、遊戯室で話を聞いている時に地震発生)	緊急地震速報の放送を聞き、身を守る体制をとった。 揺れが収まった後に、保護者、子どもに向けて地震時の避難方法について話をした。
9 月	地震 (保育室で活動中に地震発生、保護者へ引き渡し)	緊急地震速報の放送を聞き、身を守る体制をとった。 揺れが収まった後に、園庭に避難をした。保護者へメール送信し、引き渡し訓練を行った。
10 月	不審者対応 (園庭で活動中、不審者が正門を乗り越えてくる)	教師の指示を聞き靴のまま園舎内に避難、安全な場所に速やかに身を隠す。 安全が確保できたことを確認し、教師の話を聞いた。
11 月	地震・火事 (ばら組：保育室で活動中 まつ組：身の回りの始末をしている時、地震、火事が発生)	緊急地震速報の放送を聞き、身を守る体制をとった。 揺れが収まったのを確認した後、園内放送にて火事の発生を知り、防災頭巾をかぶり、口をハンカチでおおって園庭に避難した。

○降園連絡や、ホームページなどで、避難訓練時の子どもの様子を保護者に伝えることで、保護者啓発につなげることができた。園でどのようなことを意識して避難訓練に取り組んでいるのか、課題はどこなのかを伝えた。また、保護者と共に訓練を行い、具体的にどう行動すればよいか共に考えることで、意識が高まり、家庭の啓発につながった。

### 取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

○挨拶に意識がもてるように、挨拶活動の年間計画の見直し挨拶運動を1学期に1回実施した。

	挨拶	○ねらい・取組内容
1 学期	「おはようございます」 「ありがとうございます」 「さようなら」	○挨拶をする習慣を身に付ける。(4・5歳児) ○挨拶する気持ちよさを知る。(5歳児) ○いろいろな挨拶があることを知る。(4歳児) ・登降園時の挨拶(幼児、保護者、教師)が習慣になるように、教師がモデルとなり、挨拶の仕方を知らせる。 ・5歳児が挨拶当番活動を実施。挨拶週間を幼児の意欲や思いから5/19～5/30まで1週間延長して実施した。 ・未就園児活動での受付(5歳児) ・降園時の挨拶当番(5歳児) ・クラスでの当番活動(4・5歳児)
2 学期	「おはようございます」 「いってきます」 「さようなら」 「お願いします」 「よいお年をお迎えください」	○挨拶する気持ちよさが分かる(4・5歳児) ○年下の友達に挨拶の仕方を知らせたり、見本になって挨拶したりしようとする気持ちをもつ。(5歳児) ・5歳児が挨拶当番を実施(10/20～24)。4歳児も挨拶する大切さについて話し合った。 ・未就園児活動での受付(5歳児) ・降園時の挨拶当番(5歳児) 12月～4・5歳児、保護者も共に。 ・クラスでの当番活動(4・5歳児)

○月1回の園だよりにて「挨拶の取組」を掲載した。月一回以上、降園連絡を利用して保護者啓発に努めた。12月からは、降園時の挨拶当番を4・5歳児と保護者で行い、挨拶する意識をもてるようにしている。



5月…挨拶週間(挨拶当番)「挨拶すると気持ちがいいね」

6月…「おはようございます」「さようなら」

7月…「ありがとう」

8・9月…「おはようございます」「いってきます」

10月…「おはようございます」「いってきます」「さようなら」

11月…「おねがいします」

12月…「さようなら」「よいお年を、お迎えください」

#### 取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

○園内委員会を月に1回行い、一人一人の子どもの実態や課題を教職員で共有した。保育後もその日の様子をすぐに伝え合い、子どもを多面的に捉え、幼児理解を深め、同じ方向で支援することができた。

○クラスで遊びを進めていくときや1日の振り返りの時間に、「どんな気持ちだったか」「次はどんな遊び方をしたいか」などをみんなで話し合う時間をほぼ毎日もった。5歳児の振り返りの時間には、嬉しかったことや楽しかったことだけでなく、うまくいかなかったことなども伝えられるようになってきており、その解決方法をみんなで話し合う様子も見られるようになってきている。4歳児では、相手の思いを受け入れることは難しいときもあるが、友達がどんな気持ちになったのかを知る機会が増えてきている。その中で、自分の話を聞いてもらえる嬉しさを感じたり、友達の思いや考えに気付いたりしながら、お互いを認め合う気持ちが少しずつ育まれてきている。

自分の気持ちや思いを言葉で表現することが容易でない子どももいる中で、一人一人の表情や様子など気持ちを推し量りながら、お互いの思いを伝え合えるように、その子どもに合わせた支援を行っている。

○子どもたちが育ち合う様子を毎月の「こはまっこだより」やホームページで知らせた。また、参観や月末の保育室降園時には、どのようなねらいをもって保育しているか、子どもの心がどのように育っているか等エピソードを交えながら保護者にわかりやすく伝え啓発している。

#### 今後への改善点

取組内容① 園舎外壁工事で常に状況が変化する子どもの動線や登降園時や活動の場の安全を確保できるよう、常時点検・確認し配慮する。また、「上靴を履く」「廊下を歩く」など子ども自身が気付いて行動できるよう、ポスターをつくるなど工夫していく。登降園の道の歩き方について安全への意識が高まるように、3学期の始業式に安全指導を実施する。

取組内容② 園内の工事で足場が組まれていることによって、見通しが悪く避難経路も限られるなどの影響が出ている。日々避難経路を確保し、どのような状況でも子ども達が安全に避難できるように意識をもつ。教職員同士更に連携を密にし、声をかけ合うようにする。

取組内容③ 様々な挨拶があることを絵本等の視覚教材を用いて知らせる。また、挨拶する気持ちよさが感じられるように、保護者も巻き込んで取り組む。

取組内容④ トラブルが起きた場面や相手の気持ちがわかりにくい時、自分の気持ちが伝えにくい時などに表情のイラストなどを活用していく。また、言葉で表現しにくい子どもでも、かいたりつくったりすることで表現することもあるので、その思いを丁寧にくみ取り、お互いを認め合う子どもに育つようにしていく。

## 大阪市立粉浜幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>園の年度目標</b> ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。 ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「お子さんは、基本的生活習慣が身に付いてきていますか」の項目について、肯定的に回答する割合を年度当初より向上させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向3 幼児教育推進と質の向上】 様々な活動を通して、体を動かして遊ぶことが楽しめるような環境や教師の働きかけの工夫をし、保育内容の充実を図る。 (就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進)	B
<b>指標</b> ・学期に1回以上、就学前教育カリキュラムを活用し、体を動かす楽しさが感じられるような保育内容や環境構成を工夫する。 ・学期に1回、保護者と共に、楽しく体を動かす機会をもつ。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 園児の実態を把握し、健康的な生活習慣が身に付くよう指導の工夫をし、家庭との連携をはかる。 (健康教育・食育の推進)	B
<b>指標</b> ・年3回以上生活習慣調査を実施し、家庭での実態を把握する。 ・子どもの実態・発達に応じた保健指導を月1回以上実施する。 ・健康的な生活習慣が身に付くよう、家庭と連携した取組を月に1回以上実施する。(「ほけんだより」など)	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標		
○保護者アンケートにおいて肯定的な回答、「そう思う」の割合		
項目	5月	11月
① 「お子さんは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」	「そう思う」 88%	「そう思う」 95%
② 「お子さんは、基本的生活習慣が身に付いてきていますか」	肯定的回答 100%	肯定的回答 100%

取組内容①【基本的な方向3 幼児教育推進と質の向上】

○11月までに10回以上、就学前教育カリキュラムを活用し、体を動かす楽しさが感じられるような保育内容や環境構成を工夫することができた。

4月	体操・かけっこ など
5月	体操・かけっこ・サーキット遊び、水遊び、泥遊び、色水遊び など
6月	水遊び、泥遊び、色水遊び、プール遊び など
7月	プール遊び、土粘土 など
8・9月	忍者の修行、サーキット遊び、チャレンジ遊び（フープ、なわ、竹うま など）、玉入れ など
10月	サーキット遊び、チャレンジ遊び、和太鼓遊び、バルーン、玉入れ、鬼遊び など
11月	大縄跳び、鬼遊び など

- ・1学期は、子どもたちの姿に合わせて、好きな遊びが十分にできる環境や時間をとることで、好きな遊びを見つけて、スケーターやジャンピングなど、体を動かして遊ぶことを楽しむ姿が見られた。9月の幼稚園教育研究会第3ブロック研究保育では、忍者になりきって修行する中で、様々に体の動かして遊ぶ楽しさや、挑戦したり、試行錯誤したりする楽しさが感じられるように環境構成を工夫した。季節や発達段階、子どもの思いに合わせて遊びの環境を工夫することで、子どもたちが楽しんで遊ぶ姿や友達同士で関わって遊ぶ姿が見られた。また、遊びの中で多様な動きが身についていく様子も見られた。
- ・今年度は、子どもたちが楽しく体を動かして遊びながら、運動習慣を身に付け体力が向上することを目指し『すみのえ運動遊びプログラム事業』として、園と住之江区役所とミズノスポーツサービス(株)が一体となって取り組んでいる。

実施日		活動内容
5月30日 6月10日	活動量の測定	好きな遊びの時に、活動量計を付けて測定。
6月19日	忍者ごっこ	・変身 ・綱渡り、フープとび、ハイハイ、くぐる など
7月4日	忍者ごっこ(ミズノプレイリーダーによる実践)	・くぐる、片足立ちをする、走る など
7月14日	運動遊びの研修(教職員)	・ミズノプレイリーダー3級研修(座学) ・実技研修
10月27日	フープで遊ぼう①	・フープを使った好きな遊び、引っ越しゲーム、2人組での遊び など
11月7日	フープで遊ぼう②	・フープを使った好きな遊び、引っ越しゲーム、フープくぐり など
11月13日	フープで遊ぼう③	・フープを避ける、フープくぐり など

- ・研究保育では、イメージがふくらむような環境や言葉かけを工夫したり、また、フープを使って様々な運動遊びができるように内容を考えたりしたことで、子どもたちが、遊びの中で「走る」「しゃがむ」「止まる」「這う」「跳ぶ」等、様々な体の動きを楽しむ様子が見られた。また、討議会では、活動時の映像を見ながら、今後の保育に生かせるような、具体的な実践方法を教えていただいた。

- 1 学期に 4 回、2 学期に 3 回、保護者と共に、楽しく体を動かす機会をもつことができた。  
子どもたちが楽しんでいる運動遊びを保護者と一緒にすることで、子どもたちがどのようなことを楽しんでいるのか感じてもらうことができた。

実施日	行事	実施内容
4 月 23 日	保育参観	・好きな遊びを一緒にする ・体操を一緒にする
5 月 28 日	親子オリエンテーリング	・ラリーカードを用いて、一緒に体を動かす遊びや自然探検等をする ・パラバルーンで遊ぶ
6 月 11 日	5・6 月誕生会	・一緒に体操や仲良し遊びをする
7 月 7 日	7 月誕生会	・一緒にゴム跳びや体操をする
10 月 11 日	運動会	・ダンシング玉入れで遊ぶ
10 月 22 日	10 月誕生会	・パラバルーンで遊ぶ
12 月 10 日	11 月・12 月誕生会	・フープで遊ぶ

#### 取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- 1～2 学期に 2 回、生活習慣調査を実施し、家庭での実態を把握することができた。

5 月連休前：「げんきカレンダー」（生活習慣調査）起床・就寝時間、朝食、排便の様子を把握。大きくくずれることなく、連休中も生活リズムを意識して過ごしている様子がうかがえた。

夏期休業中：「なつやすみやくそくひょう」起床・就寝時間とともに家庭での様子を把握。「就寝が遅くなっているときもあったが、早起きは頑張っていた」など、生活リズムを頑張って立て直す様子が見られた。

- 子どもの実態・発達に応じた保健指導を月 1 回以上実施することができた。

4 月	手洗いの仕方
5 月	トイレの使い方
6 月	自分の体を大切にしよう「プール遊び時の着替え」
7 月	夏野菜の働き / 自分の体を大切にしよう 絵本「だいじ だいじ どーこだ」
9 月	熱中症予防
10 月	目の大切さについて
11 月	命の誕生・命の大切さについて
12 月	風邪の予防（手洗い・うがい・咳エチケット）

1 学期は、生活習慣に関するもの、食育、性に関するものと幅広い内容について保健指導をすることができた。性に関する内容については、体の中でも特別大事な「プライベートパーツ」があること、プール遊びの着替えの時には「パンツ・シャツから先に着ること」「素早く着替えること」「裸のまま歩き回らないこと」などを伝えた。また、絵本を読んだり、具体的な場面を挙げてクイズを出すことで、自分の特別大事なところを守るためにどうしたらよいのかを考える機会になった。自分の体を大事にすること、同じように友達の体も大事にすることを 2 回に分けて伝えることができた。

2 学期も、自分の体を大切にするため幅広い内容について保健指導をすることができた。また、命の誕生・命の大切さについては妊婦の養護教諭から話を聞き、実際にエコー写真を見たりお腹を撫でたりして、「自分も大切にされて生まれたこと」を感じる貴重な機会になった。

○健康的な生活習慣が身に付くよう、家庭と連携した取組を月1回以上実施できた。

〈保健だよりで取り上げた内容〉

4月	朝ごはん 生活リズム 排便
5月	疲れ解消のポイント 早めの熱中症対策
6月	食中毒予防 熱中症予防 / 虫歯予防 / プール遊びについて
7月	熱中症 / 夏休みの過ごし方
8・9月	足に合った靴選び 防災 生活リズム
10月	薄着で抵抗力アップ 目の愛護デー
11月	湯舟に浸かる効果 風邪予防（手洗い）
12月	冬の感染症 インフルエンザにかからないためのポイントや出席停止期間

『『うちでできるかな』を作成し配付〕

6月：「寝る前の歯磨き」7月：「朝ごはんを食べること 野菜を食べること」保護者から「苦手な野菜を食べることができるようになった」「新しい野菜にチャレンジしてみた」などの意見が聞かれ「食べてみよう」という気持ちにつながった。

9月：「熱中症予防のため朝食とともに水分をとること」10月：「目を大切にするための約束 目の体操」11月：「外出後、食事前の手洗い・うがい」園での取組が家庭でも継続して行えるように、園と同じ「手洗いの仕方」「うがいの仕方」のイラストを記載し、切り取って掲示できるようにした。保護者のコメントから、家庭でも実践している様子が分かった。

〈関係機関や園医と連携した啓発〉

6月：食育講座。保護者と共に食育ラリーを実施した。食育かるたや野菜の花クイズなどを楽しみながら、様々な野菜に興味・関心をもつきっかけになった。保護者への講話では、食事の栄養バランスや噛むことについて聞くことができた。9月：歯磨き指導・子どもの歯を守る懇談会。歯磨き指導では、園での保健指導を保護者に実際に見てもらい、家庭でも継続して行えるようにした。講話では、保護者からの質問を中心に歯の健康と生活習慣の関係など話を聞いた。保護者から「歯みがきの大切さを改めて感じる事ができた」との声があった。

#### 今後への改善点

取組内容① 今後は寒さに負けず、元気にかけあしや体操など体を動かして遊び、楽しいと思えるような活動を工夫していく。

取組内容② 今後も、教職員と相談・連携をし、子どもの実態に応じた保健指導を行うとともに、個々に合わせた指導や継続した指導、言葉かけをして、指導内容が定着するようにする。園での取組（保健指導）を降園連絡やホームページなどで家庭に周知し啓発する。

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>園の年度目標</b> ○本年度末の職場内アンケートにおいて「仕事の効率化が進み、働き方改革がなされていますか」「様々な研修を通して、自身の資質向上に努めることができましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ○本年度末の保護者評価アンケートにおいて、「幼稚園は家庭・地域・他校種との連携を工夫している」の項目について、「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 全教職員が健康で生き生きと働くことができるよう、働き方改革推進プランに基づいた取組を実施する。(教員の資質向上・人材の確保) <hr/> 指標 ・働き方改革推進プランに基づき、週1回のゆとりの日を設定し、効率的に仕事を進める。	C
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の資質向上を図る。(教員の資質向上・人材の確保) <hr/> 指標 ・年2回以上、実践記録をとり、研究討議を行う。 ・学期に1回以上、研修会や他園参観などに参加し、学びを共有する。 ・各教員1回以上、全教員で年に1回、研究保育を実施する。	B
取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 家庭や地域に幼稚園の取組内容を知らせ、子どもの成長を共有する。(地域学校協働活動の推進) <hr/> 指標 ・学期に1回以上、子どもの育ちや教師の教育的意図をもった働きかけ、小学校教育につながる遊びの中の学びの芽などについて、手紙や降園連絡、保護者会などで分かりやすく保護者啓発を行う。 ・週に2回以上、ホームページの更新を行い、具体的な保育の取組や子どもの育ちを知らせる。 ・他校種との交流や、地域の方々とのふれあいなど、学期に3回以上、実施方法を工夫して行い、連携を図る。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標

○職場内アンケート、保護者アンケートにおいて肯定的な回答、「そう思う」の割合

項目	5 月	11 月
① 職場内アンケート「仕事の効率化が進み、働き方改革がなされていますか」		
② 職場内アンケート「様々な研修を通して、自身の資質向上に努めることができましたか」		
③ 保護者アンケート「幼稚園は家庭・地域・他校種との連携を工夫している」	「そう思う」 75%	「そう思う」 81%

取組内容①

○働き方改革推進プランに基づき、効率的に仕事を進められるように努力しているが、週1回のゆとりの日の実行が難しいことが多い。就業時間内に仕事が終わるよう各自が退勤時間を意識し、見通しをもって働き、就業後の自分確保できるようにする。

職員会議や打ち合わせの効率化を図る。(事前に議題や内容についてのレジメを配付し、各教職員が議題を理解し、会議に参加する。会議までに係と打合せ内容や進捗状況の確認をし、時間の短縮につなげる)

行事の係が各担当者に見通しをもち、スムーズに準備できるように声をかけ合い、情報を共有して進めていく。

取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

○1学期に2回、2学期に1回実践記録をとり、研究討議を行うことができた。

○1学期に7回以上、研修会や他園参観などに参加し学んだことを伝えたり、研修資料を回覧したりすることで、学びを共有することができた。

〈教職員の資質向上につながる研修の一部〉

実施月	研修内容
5 月	学校プール衛生・安全管理講習会
6 月	人権地域研修、日吉幼稚園 研究保育
7 月	音楽会研修、ミズノプレイリーダー3級研修、上級救命講習、専門研修
11 月	造形表現・図画工作・美術教育全国大会

○1学期に3回以上、2学期に3回以上研究保育を実施することができた。

研究保育について複数人の視点から分析したり、話し合ったりすることで、多角的に見ることができた。幼児理解につながったり、教師の言葉がけや配慮、環境の工夫、安全への配慮などについて研修が深まった。また、様々な研修に参加することで、自身の資質向上につなげることができた。

〈実施した研究保育〉

実施日	内容	
6 月	自分の体を大切にしよう「プールの着替えの仕方」	保健指導 各学年
	※忍者ごっこ	運動遊び 全学年
7 月	自分の体を大切にしよう 絵本「だいじだいじ どーこだ」	保健指導 全学年
9 月	第3ブロック研究部 研究保育	運動遊び 全学年
10 月	※フープ遊び①	運動遊び 全学年
11 月	※フープ遊び②、※フープ遊び③	運動遊び 全学年

※『すみのえ運動遊びプログラム事業』研究保育後にビデオを活用しつつ、振り返りを実施。

取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

○「こはまっこだより」やホームページで子どもの育ちや教師の教育的意図をもった働きかけについて知らせた。

保護者会では、文部科学省のビデオ「遊びは学び 学びは遊び」を視聴、幼児期の遊びの重要性や小学校教育につながる学びの芽について知ってもらう機会となった。

○週に2回以上ホームページを更新することができた。1学期の保護者会では、ホームページに掲載した内容をスクリーンで見ながら、子どもの育ちや教育的意図をもった働きかけなどを具体的に知らせた。ホームページを見ていない保護者にも啓発ができた。

○他校種との交流や地域の方とのふれあいを、学期に3回以上工夫して行い、連携を図ることができている。

いちごクラブ (1学期7回、2学期9回)	その季節ならではの遊びや園児が興味をもって楽しんでいる様々な遊びを一緒にし、未就園児や保護者が体験する機会や幼稚園教育の理解につながるよう内容を工夫した。園児と一緒に遊ぶとともに、責任をもって受付も体験できるようにすることで、年下の友達(未就園児・保育園児)にさらに優しく声をかけたり接したりする姿が見られた。
住吉幼稚園 (1学期1回)	ザリガニ釣りをし、園ではできない体験をした。釣り方を教えてもらったり、親しみをもったりするなど、同年代の友達とふれあうよい機会になった。
小中学校交流 (2学期2回)	住吉第一中学校3年生との交流 事前に中学校の先生と打ち合わせを密にすることで、学習内容や園のねらいなどお互いの教育の理解した上で、目標を明確にして交流することができた。交流を通して子どもたちに憧れの気持ちが育まれ、中学生と同じように『自分の絵本をつくる』『大縄跳びに挑戦する』など心を動かして挑戦する姿が見られた。 粉浜小学校1年生との交流 『秋のおもちゃランド』に招待してもらい、様々な手づくりおもちゃで楽しく遊ぶ経験ができた。憧れの気持ち・安心感・入学への期待につながった。



住ノ江図書館絵本の会 (2学期1回)	絵本読み聞かせ。地域の教育力を活用し、子どもたちが 様々な絵本にふれたり、読んでもらううれしさを感じたり できるようにした。
おじいさんおばあさんの 集い(2学期1回)	祖父母と一緒に昔遊びを楽しむことができるように環境 を考え準備した。優しく接してもらい、親しみの気持ちが 育まれるようにした。
文化の集い(2学期1回)	自由参加。 粉浜小学校講堂で、子どもたちの歌やダンスを披露した。 たくさんの拍手をもらい、子どもも保護者も、地域の方に 見守ってもらっている安心感につながっていた。
今後への改善点	
取組内容①	会議の日程、時間を調整し、事前に知らせる。また、レジメを会議までに配 付し、内容を理解した上で会議に参加できるようにする。 Teams を活用し、入力しながら話し合いをするようにし、仕事の効率化を図る など工夫していく。ゆとりの日を職朝で周知し、各自が退勤時間を意識して 仕事をするようにしたい。
取組内容②	研修内容を他の教職員に伝達して共有できる機会が増えるように、朝の職員 会議や、すき間時間を活用していく。
取組内容③	小中学校との交流の際、お互いのねらいや願いなどを伝え合い、連携を図っ ていく。 保護者に子どもの育ちを伝える際、小学校教育につながる学びの芽について 具体的な例をあげて知らせていきたい。